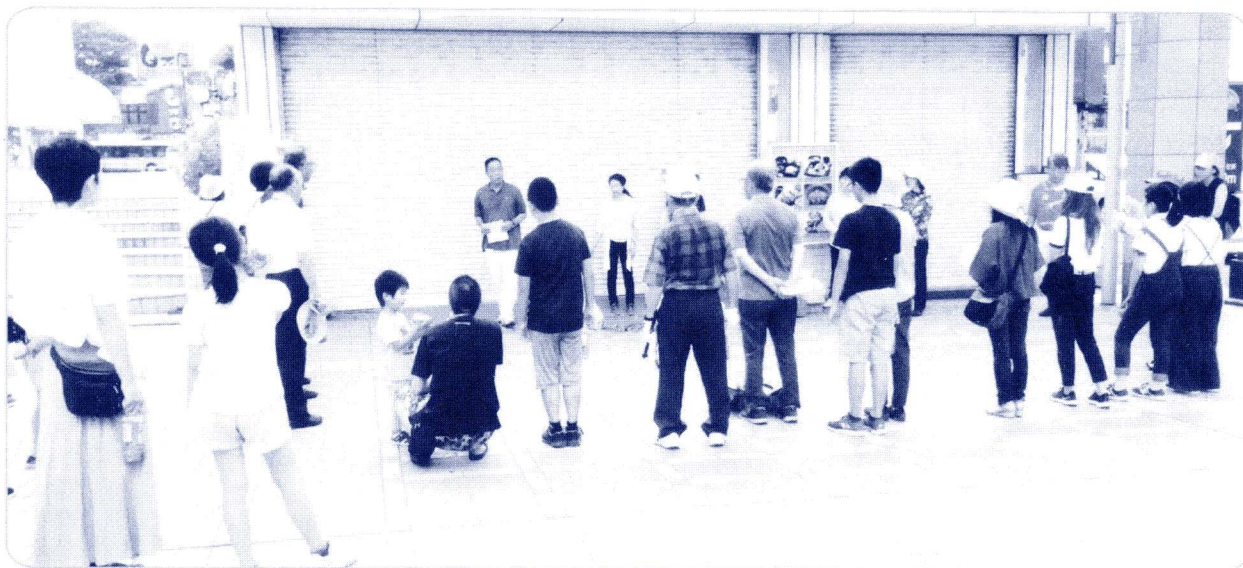


第 38 号

発行者
青少年育成秋田市民会議
事務局
秋田市子ども未来センター内
少年指導センター

〒010-8506
秋田市 東通仲町 4 番 1 号
TEL 018-884-3869
FAX 018-887-5335

青少年やどめ



7月27日第29回JR秋田駅前クリーンアップ・参加者 大人26名、子ども10名

昔ものがたりとアウトリーチ



青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫

とある（子育て講話）の中で、宇宙飛行士に適している、あるいは結婚相手として選ぶとしたら桃太郎か？ 浦島太郎か？ 会場は「好みがいろいろとある」とも言えない。桃さんなのだが、解析がある。桃さんはリーダーシップに長けていて少量の食べ物を分かち合う慈善派。それでいて世にも恐れる鬼どももを退治する勇敢に行動する人物。一方、浦ちゃんは、釣竿で釣った話がない暇人・孤独派。亀を助ける優しさや龍宮城という海の中で乙姫様と時を忘れて過ごす空間、玉手箱を開けてしまう約定破りだが、未知の世界の体験者でもある。という展開になった。知力・体力・経済力は必須事項だが、この場合「優しさ、時を忘れる空間、未知の世界」を体験した浦ちゃんを勧める。とのこと。

現実には浦ちゃんの暇人・孤独派の悩みを持つひきこもりが15〜19歳（30・6%）20〜24歳（34・7%）（子供・若者白書…内閣府）と公表されている。ひきこもり期間は15〜19歳（3〜5年80%）、30〜34歳（7年以上70%）年齢層に限らず確かに増大しており、子ども・若者への支援が重点になっている。しかし、関係機関に相談したいと思わない15〜39歳（65・3%）は想定外で、長期にわたり、信頼関係を築き、親身になって一緒に克服してくれる機関を望んでいる。「相談があるなら来て」という形態は、ほとんど「二度と相談しない」。アウトリーチ支援の必要性が喫緊の課題である。（久留米大教授 門田氏）

克服するには、「4月からひきこもりです」というケアマネージャー・ソーシャルマネージャー等は一年契約者であってはならない。「人材育成」と「アウトリーチで自己肯定感」を持たせることこそ大切（豊中市社福協 勝部氏）と実体験を力説された。

「男鹿のなまはげ」を加え、主人公たちには現実社会の中で「アウトリーチ支援」をしてほしいものです。

2019 秋田県大会

最優秀賞

私を隔てたもの

にかほ市立仁賀保中学校
3年 浅井 陽菜

「……because you're Japanese!」
私の脳裏に焼き付いて、消えること
はありません。
小学2年生のとき、父のアメリカ
転勤が決まりました。父が単身赴任
をするという選択肢もありました
が、私たち家族は全員で移住するこ
とを決めました。
澄み渡る青空、ひしめき合うピ
ル、行き交う人々、自由の国アメリ
カのスケールの大きさに圧倒される
とともに、これからの日々に大きな
不安を感じたことを覚えています。
程なくして、私は現地の小学校へ
通うようになりました。そこには、
中国人や韓国人、メキシコ人、イン
ド人、アフリカ系のアメリカ人な
ど、様々な人種の子たちが通って
いました。彼らは、まったく英語を話
せなかった私のことも、家族のよう
に受け入れてくれました。そのおかげ
で、アメリカでの生活にすんなり
溶け込むことができました。
4年生にもなると仲良しの友達も

でき、学校生活が楽しく感じられる
ようになっていました。そんなある
日、そのうちの一人が笑いながら私
にこんなことを言ってきたのです。
「You look like a fox because
you're Japanese. (日本人っぽいね
ねみたいだね)」
目に映るすべてのものが、色をな
くしました。あの衝撃は、今でも決
して忘れることはありません。「き
つねみたい」と嘲笑われたことより
も、「日本人」という言葉が、私の
心に深く突き刺さりました。
それからというもの、私について
の根も葉もないうわさが広まり、仲
良くしていた友達も私から離れて
いつてしまいました。
そのとき初めて、差別を受けてい
るのだということに自覚しました。
そして、今までわからなかったこと
の答えが、すべてはつきりと見える
ようになったのです。スーパーマー
ケットで店員さんにわからないこと
を聞いても無視されたことを、街中
を歩いていたらすれ違いざまに中指
を立てられたこと……日常の中に
あったこれらの「どうして?」の答
えは、すべて私が「日本人だから」
だったのです。私が「日本人だか
ら」、たったそれだけの理由で遠ざ
けられ、忌み嫌われ、憎まれていた
のです。
次第に、私は差別の眼差しを感じ
るようになってきました。どこにいて
も、何をしても。
「……because you're Japanese!」
頭の中で、いつも誰かの声がしま
す。そんな私に声を掛け、救って
くれたのは、アメリカ人の親友でし
た。
「日本人って、礼儀正しいよね。」
日本人には日本人のよさがあるのだ

という当たり前のことですら見失っ
てしまうほど、人種差別はひどく恐
ろしいものでした。
日本人である私がアメリカで差別
されたのは、一体なぜでしょうか。
肌の色?言葉?それとも戦争?しか
し、それらは私たち人間を差別する
ものではないはずです。人間が、同
じ人間を差別する必要なんて、い
たいどこにあると云うのでしょ
うか。
人種によって、その人間に違いが
生まれることはあり得ません。ある
とすれば、生まれ育った文化や環境
の違いがあるだけです。それらの違
いをきちんと理解し、受け入れた上
で、一人一人の人間を尊重していく
——そのことが、すべての人々が平
等に暮らし、人種差別をなくす唯
一の方法です。
現在、日本で暮らす多数の外国人
も、差別の対象になり得ます。つま
り、私たち日本人が、知らず知ら
ずのうちに人種差別の加害者となり、
人間を傷つけてしまうかもしれませ
ん。他人事ではいられないのです。
人種差別は、自分の心がつくり出
すものです。その心を変え、みんな
の手でこの世界を変えていきまし
ょう。人種差別の犠牲者を、私と同じ
思いをする人をこれ以上増やさない
ために。



最優秀賞 にかほ市立仁賀保中学校
3年 浅井 陽菜

私たちは青少年健全育成に協力しています。

明日の郷土・秋田を築いていくのは、青少年のみなさんです。今を充実して生きるとともに、困難な環境を乗り越え、先頭に立って次代を築いていくことが期待されています。

青少年育成への メッセージ

HAND TO HEART 在宅介護 **やさしい手**
 ~やさしい手届けたい~
 ケアプラン作成 ホームヘルプサービス

やさしい手秋田 市立病院西口バス停向い
 TEL 864-1113

ホームヘルパー募集中! <http://www.8341te.com>

土崎神明社

秋田市土崎港中央3丁目9-37
 電話 845-1441
 FAX 845-2417

わたしの主張

優秀賞

「居場所」のある町

羽後町立羽後中学校
3年 仙道 泰貴

みなさん、この切り絵を見て下さい。どうですか。細かいところまで、丁寧に切られていて綺麗だと思いますか。これは、僕の弟がくれました。弟は、こんな作品を、楽しんで作ることが出来ます。料理も上手で、時々僕たち家族に卵焼きを作ってくれます。美味しいので、僕はいつも感謝しながら、ご馳走になることにしています。でも、弟には苦手なこともあります。弟は大きな音が苦手です。きつと、耳が、僕たちよりも敏感なのだと思えます。そのせいという訳でもないでしょうが、小学校3年生の時から、学校に行くことができなくなりまして。でも毎日、「そよ風教室」という名前の、適応指導教室に通っていて、さっきの切り絵もそこで作ったものです。友達と遊ぶことが少なく

なつた弟に、僕はある日「ワクワクサタデーに行ってみないか。」と声をかけました。土曜日に体育館が解放され、誰でも使っていることになっていて聞いたからです。「僕と一緒にいこう。」と誘うと、弟はとても嬉しそうでした。広い体育館でボールを使ってみよう。弟にとっても、僕にとっても、とても気持ちよく、楽しい時間でした。こういうシステムがあつて本当によかつた、と僕は実感しました。

最近、家に引きこもっていた人が、大きな事件を起こす、ということが続いて、学校に行けなかったり、会社に行けなかったりしている人のことが、テレビやネットで話題になっていきます。僕はそれを聞く度に、そういう人たちが、家以外に、安心して居ることのできる、「居場所」があつたらいいのに、と思うのです。「そよ風教室」や「ワクワクサタデー」のような。そうすれば、こんな事件は、もしかしたら、未然に防ぐことができたのではないだろうか。例えば、僕の弟のような人たちが、大人になってからも、得意なことを、存分にできる場所が、社会の中にたくさん用意されていたら、どんなにいいだろうかと。

僕は将来、行政に関わる仕事をしたいと思っています。そして、自分の町を「居場所のある町」にしたいと考えています。僕の町は少子高齢化が進んで、人口が減少しています。たくさんの人を呼び、住んでもらうためには、町に魅力がなけ



優秀賞 羽後町立羽後中学校
3年 仙道 泰貴

ればなりません。僕は、「居場所のある町」というのは、我ながら、いいアイデアだと思っています。もちろん、お金もかかるだろうし、すぐできることではないかもしれませぬ。でも、望まなければ、何も達成することはできないのです。僕は、このことを、自分の、一生をかけて、達成する価値のあることだと思っています。みなさんも、そう思いませんか。

弟の不登校が始まった三年前、きつと父と母はとも苦しいとは思いません。そしてとても不安だとは思いますが、「これからどうすればいいだろう。どうなるのだろう。」と。そんな時に、様々な人を受け入れてくれる居場所のある町があつたら、父と母の気持ちは、楽になつていたと思います。そう考えれば「居場所のある町」は、たくさんの人に、安心と安らぎを与え、大きく見れば、社会全体に、安心と安定をもたらす働きを、するのではないのでしょうか。

僕が社会に出るまで、まだ7年の時間があります。僕はその間に、しっかりと勉強し、自分の夢を実現させるだけの力を、蓄えたいと思っています。

この会報は、秋田市赤い羽根共同募金会からの補助の一部で発行しております。広告掲載につきましては、たくさんのご協力ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

大日本書藝院 飛鳥支部

☎ 018-824-1349



デイリーヤマザキ

柳田川崎店

TEL 018-825-2281

子供が嘘を 言うことの背景

秋田市少年指導センター
相談員 安宅輝世

2年前から「わかくさ相談電話」の担当となり、相談者の気持ちに少しでも共感できるようにしたいと思いついてあるカウンスリング関係の本を読みました。その本の中に、「嘘を言うという行動の背景にはどんな感情、欲求、期待、意図が隠されているでしょうか、考えられるものをできるだけたくさんあげてみましょう」という問題があり、やってみるところ、10個しかあげることができませんでした。その後で解答を見てみると、なんと25個もの参考例があり、自分の浅い考え方を反省させられました。

私たち大人は、子どもの話していることを嘘だと判断すると、その裏に思いを巡らすことなく、間髪を入れず、「嘘はいけない、本当のことを言いなさい」と、その行為をたしなめ改めさせようとします。それ自体は間違いではないと思いますが、嘘を言う行為の背景にある子どもの思いを感じ取り、寄り添うことができないければ、子どもは「自分のことをわかってくれない」と感じて、また同じことを繰り返し、大人は「なぜわかってくれない」とまた嘆き、解決へ向かわないことが多いのではないのでしょうか。

「少女たちの活躍」

ガールスカウト秋田県連盟秋田県第1回
リーダー 佐藤順子

ガールスカウトが日本に伝えられて今年で100年、私たち秋田県第1回は、1961年に発団し、現在は少女スカウト(就学前1年〜満18歳)と若い女性を中心の活動と、それを支える成人とで組織し、市役所センターを主な集会場に、秋田市・潟上市の少女たちが一緒に、社会の一員として自分で考え行動し、体験から学ぶことを大事にしてきました。

昨年は、中学生のスカウトが学友のボーイスカウトと「緑の羽根」街頭募金を計画し、日時・会場・事後の集計など関わることをすべてをスカウトがリードし実施しました。成人はそばでリードし見守るだけでした。

この経験から「ユニセフ募金」を計画し、小学生スカウトが「ユニセフ」を知る会を開き準備を進めている。最中台風が頻発しその現状を見て、この数年防災について学んできた経験から、再度話し合い、早急に必要な「台風19号義援金」活動に変更し、ポスター・募金箱・会場の許可などの準備をし、秋田駅ポポロードで実施し、多くの市民の皆さんからの義援金をいただきお届けすることが出来ました。

令和元年度 青少年健全育成セミナー

日時…令和2年2月12日
場所…ユースパル 大研修室
共催…秋田県民会議
講演…「不登校児童生徒の支援について」
講師…秋田県立明德館高等学校
教諭兼教育専門官 加藤しお子氏

一、不登校を取り巻く状況
不登校とは何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、またはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。誰にでも起こり得る。少子化でも不登校児童生徒は増えている。

二、スペース・イオについて
不登校の小中学生、中卒生を対象に、主に学習支援を通して「心の居場所」を提供している施設。県立高等学校内に不登校支援施設があるのは全国的にも類を見ない。

三、児童生徒の支援にあたって
「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。生きづらさを抱えている、躓いても、対処して乗り越える力を身につけて欲しい。

◇お知らせ◇

- 令和元年度新入会員紹介
藤枝隆博・小玉陽子・安井昌子 (敬称略)
- 令和2年度総会開催について
令和2年5月9日(土)
協働大町ビル 午後2時から

『地域のおじさん、おばさん運動』 ただいま、会員募集しております

私たちは、次代を担う「秋田の子どもたち」の健全育成を図るために、子どもたちにとって、一番身近な地域の市民の一人一人が参加して「地域の子どもは、地域で守り育てる」活動を展開しております。
また、「地域のおじさん、おばさん運動」もあわせて展開しております。
～さあ、はじめよう。できることから。あなたから～
青少年に関心のあります市民の皆さま、ぜひ「この運動」をご理解いただきご入会くださいますようお願い申し上げます。



お問い合わせ：事務局 秋田市子ども未来センター内 少年指導センター
〒010-8506 秋田拠点センター アルヴェ5F
TEL 018-884-3869 FAX 018-887-5335

青少年育成秋田市民会議
会長 遠田 順夫

編集後記

暖冬で過ごしやすいくのんきにしていたところ寒波と降雪。秋らしい冬の景に少しホッとする一方、地球温暖化・気候変動は身近な事と感じ、意識と行動を変えなくては、と焦るこの頃です。